

**高齢者自動車事故多発!  
 じゃあ誰が何とかしてください!**

**質問**交通事故予知能力や身体能力が衰えても、自動車に依存しなければ基本的な生活の営みが保てない方々が大勢いる沼田市にとって、この問題は重大かつ優先課題と認識しています。

高齢者単独もしくは含む世帯は5,000世帯を越え、身体等が不自由な方々を含めると、沼田市総世帯数約2万世帯の5分の一から4分の一にあたり、決して「少数」の方々の問題ではないことは明白です。

そこで、移動に困難を抱える方々の支援に向けた現状認識を一致させるためにも、沼田市の委託公共交通路線の乗降数及び収支状況と課題について伺います。

**答弁**バス事業者に運行を委託している10路線の平成30年度の利用者数は5万648人で、前年度に比べ2,218人減少しました。

岩本線など、一部増加した路線もあるものの、佐山線、南郷線が減少となったことが原因です。

収支状況では、経常収入が1,231万6,055円、経常費用が8,260万8,647円ですが、国や県の補助金等を活用して、平成30年度実績で約5,900万円を一般財源で負担しています。

路線バスは、運転免許証を持たない交通弱者にとって欠かせない交通手段と考えていますので、さまざまな利用促進を図りながら路線の維持に努める考えです。

単位：円

路線名	利用者数	料金収入	支出総額	市負担額
佐山線	6,642	1,412,109	7,106,311	627,0311
岩本線	3,015	746,283	6,723,987	6,066,987
中山本宿	12,739	3,395,405	11,081,284	3,575,284
迦葉山線	9,599	2,409,035	14,671,691	14,666,811
南郷線	3,016	1,289,046	6,581,386	5,902,386
川田線	905	197,402	1,677,563	1,677,563
宇楚井原	3,441	564,478	2,957,665	2,957,665
奈良秋塚	1,930	349,490	3,302,015	3,302,015
沼須線	8,338	1,671,565	3,268,735	3,268,735
根利尾瀬	1,023	281,242	11,392,685	11,392,685
合計	50,648	12,316,055	68,763,322	59,080,442

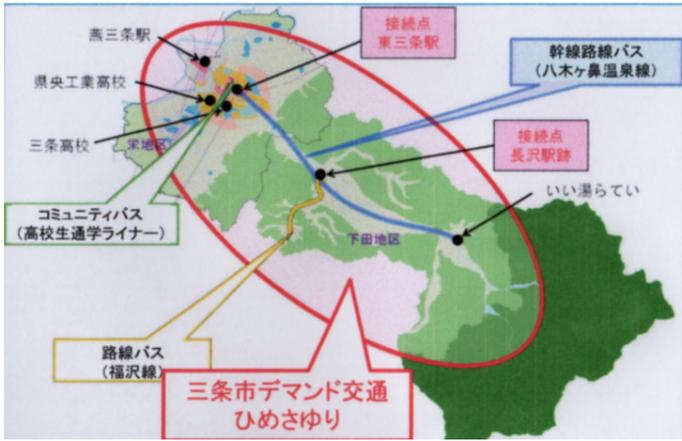
**三条市のデマンド交通視察の結果と導入への考えは**

**質問**新潟県三条市のデマンド交通システムに調査に行ったと聞きましたが、その内容をお聞かせください。

**答弁**利用者は増えたが、利用者が増えると市の持ち出しも増える構造になっています。(相乗りせず)1人乗車が多いということなどの課題がありました。

三条市のような形でデマンドを実施するには、市内のタクシーの台数が沼田市は絶対的に少ないという状況も課題となりました。

**停留所の沢山ある乗合タクシー ひめさゆり**



- ひめさゆりの事業の概要と課題**
- 三条市内870カ所のタクシー停留所を設置
  - 市内を4つのエリアに分割 会員登録無し
  - 利用時間：午前8時～午後6時(日中のみ)
- ①出発の1時間前までに「乗車停留所」を電話
  - ②1人乗車の料金500円～3000円  
複数乗車の料金 A：400円 B：800円
  - ③下車する停留所で料金を支払い降りる。
- 課題
- 停留所から停留所間の移動支援で、ドアツウドアではない。
  - 専用のタクシー台数の確保が困難(沼田市39台)
  - 相乗りしてくれる人が、まだ、少ない。
  - 現在事業会社の赤字分を三条市が負担している。

**質問**シルバー人材センターは、高齢者の雇用の安定等に関する法律第44条により設置された全国シルバー人材センター事業協会の指定を受けて、臨時的かつ短期的または軽易な業務を委託や請負契約によって実施し、配分金を会員に支払う仕組みとなっていると認識しています。

沼田市においてもこの趣旨に則り、平成31年度予算では980万円余りを団体育成事業として計上しています。当然ながら、法律に基づく公費負担でありますので、その運営には、透明性・公平性が求められますが、沼田市シルバー人材センターの事業規模及び事業内容についてお聞かせください。

先ほど述べた趣旨から、受注された業務の公平分配の具体的内容についてお聞かせください。

さらには、補助金での事業運営により、しばしば、ふすま張りや庭木の剪定など、生業として営んでおられる方々の民業圧迫が危惧されており、その回避策と適正労働条件確保への対応について伺います。

沼田市の姿勢として、改めて公費負担による沼田市シルバー人材センターの透明性の確保と信頼獲得への基本的な考え方を伺います。

**高齢者の生き甲斐が生業を圧迫?**

**考察** 今日、市役所に来る際にも環状線を造園会社が歩道の草を刈っていました。出来れば頼む側は安い方が良いし、受注側は適正なお金もらわないと困ります。

しかし、ここに「高齢者の優遇雇用の名」の元に適正価格を脅かすとしたら、高齢社会の雇用や地域の在り方が歪んでくる訳です。

こうしたところの尺度や基準や透明性がしっかりしないと、例えば長生きしていてもつまらないや、という話になってしまいます。

補助金を支出し、管理監督する責任者としての沼田市には、是非そういう点を今年、名実共に改革元年にしてもらいたいわけです。

**答弁**長年培った技能を生かして就業していただくために、入会時に就業経験や希望する職種等を申告していただき、希望に沿った業務を公平に分配するように対応しています。

次に、民業圧迫回避と適正労働条件確保への対応策については、シルバー人材センターは、就職することは望まないが、「自らの能力や経験を生かしたい」「社会に役立つ仕事をしたい」など、働く意欲を持つ高齢者が会員となり、民間事業所・個人家庭・公共団体等から日常生活に密着した業務を受注していますが、民業圧迫回避につきましては、厚生労働省の指導に基づき、**臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な業務に係る就業に制限**するなどの対応をしています。

また、適正労働条件確保への対応策については、「**シルバー人材センター適正就業ガイドライン**」に沿った事業運営に努め、長時間就業や危険作業などは行わないようにしています。

国のシルバー人材センターへの補助金は、地方公共団体の応分の負担を前提に交付することとしており、本市でも国の示す方針を踏まえ、事業の実施に必要な経費を精査の上、運営費の一部を補助し、**補助金の適正な執行が行われるよう指導**しています。

高齢者の生きがいがづくりや社会参加という観点から、シルバー人材センターは大きな役割を担っており、今後もさらに信頼を獲得し、健全な運営がされるよう支援していく考えです。

沼田市シルバー人材センター会員状況 H30年度

区分	60才未満	60~64	65~69	70~74	75才以上	計
人数	1	24	116	133	201	475
比率	0.2%	5.1%	24.4%	28.0%	42.3%	

沼田市シルバー人材センター受注状況 H30年度

区分	受注件数		受注金額 (円)	内公共事業		内民間等	
	(件)	(人)		件数	延人員	件数	延人員
H28	1,388	48,556	207,978,422	131	7,941	1,257	40,615
H29	1,302	47,565	200,830,556	98	6,921	1,204	40,644
H30	1,319	44,638	185,918,848	123	6,382	1,196	38,256

# 「お互い様のまちづくり」は何故進まないの？

議論の「遅延」原因分析と具体的対応について聞きました。

**質問** お互い様のまちづくり事業の趣旨は、長寿社会に伴って増幅していく費用、これに反比例して生産年齢世帯の減少と窮乏化が増大、都市化・核家族化が進み、地域コミュニティなどの社会的資源の希薄化が深刻化する中で、失われたものを取り戻し、限られた財源と地域資源を、細く長く有効に活用するものと考えます。

本施策のこれまでの取り組み内容及び、具体的事業展開が遅延している原因、そして今後の進め方について伺います。

**答弁** 高齢者が、できる限り住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるよう、地域の課題を地域で考えていく協議体の設置に向けて勉強会を開催し、一部地域では課題解決に向けて、買い物支援サービスや運動教室の集まりをきっかけとした地域サロンが始まっています。

今後も、国が示す2025年を目標とした互助組織の構築を目指し、さらに地域の特色や課題を確認しながら、意見を出し合い、この地域に不足するサービスの創出、サービスの担い手の養成及び地域と連携する体制づくりなどを進めていきたいと考えています。

## お互い様のまちづくり勉強会の実情は？

お互い様のまちづくり勉強会開催状況			
学校区	協議体名	勉強会開催回数	
		29年度	30年度
沼田中	未定	4回	2回
南中①	升形協力隊	6回	6回
南中②	まちなかきずなの会	6回	6回
西中	未定	5回	0回
東中	お助け隊となみイーストマイル	6回	6回
池田	いけだ思いやりネット	5回	3回
薄根	楽楽倶楽部	0回	0回
白沢	しらさわサルビアの会	6回	6回
利根	とねふきわれお助け隊	7回	6回
多那	未定	0回	3回

**質問** 「かつて存在していた地域の絆や助け合いの精神を取り戻そう！」とする気持ちは理解しますが、今や自治会やPTAの活動さえ、旧来のままの形態を維持することが困難な状況なのが、現在の地域の実態と考えています。

この代表的モデル事業を地縁団体やボランティア団体等が主体的に拡大していくことは、大変困難であると考えますが…。

本事業は「生活支援事業」と「居場所づくり事業」の2つに大別されます。生活支援事業は、電球の付け替えや家具の移動等の高齢者などが日常生活を営む上での「ちょっとした困り事」の支援で、居場所づくり事業は、その名が示す通り社会福祉協議会が推奨している「地域のサロン」だと捉えることができます。

そこで、こうした事業をいっそのこと医療や介護事業者等の生業を営む関係事業者や団体が主体となり「生活支援」「居場所づくり」あるいは、買い物や通院の「助け合い」を企画、具体化していくという方向から考えることも、こうした事業実現にむけた手法と考えますが…。

## 医療や介護の専門家が集まる地域ケア会議を有効に！

**答弁** お互いさまのまちづくりが求めているものは、住民同士で助け合いを行っていける互助の体制づくりです。

中心となる方の負担軽減が課題と認識していますので、まずは、既存の地域サロンや体操の集まりなどを、地域住民の困りごとを話し合える場所として発展させ、住民一人ひとりが、近い将来の自分達の問題として捉えていただけるよう、引き続き事業を進めていく考えです。

医療や介護事業者等が主体となっていただくことにより、早期の具体化は可能であると考えられますが、これらは既に医療保険及び介護保険などの共助の部分を持っており、既存の制度との区分けが難しいものと思われま

## 心優しく面倒見のいい人が少なくなったのではなく、社会が厳しくなったのです！

### 生き生き長寿のまちづくり計画 H27年度

区分	沼田市	群馬県	全国
一般世帯総数	19,141	772,014	53,331,797
65才以上がいる世帯	9,679	343,196	21,713,308
65才以上世帯			
高齡夫婦世帯	2,710	99,307	5,247,936
世帯総数に占める割合	14.2%	12.9%	9.8%
高齡単身世帯	2,441	79,885	5,927,686
世帯総数に占める割合	12.8%	10.3%	11.1%
世帯総数に占める割合	50.6%	44.5%	40.7%



### 生計維持することが困難な高齢世帯増

上の2つの表が示す通り、沼田市は、高齢者だけの世帯が5,141もあり、全国を10%も上回り、65才以上の就業も3,962人と国・県を引き離しています。

勿論、勤勉な方々が多いとする見方も出来ませんが、老後の生活設計対応と考えるのが自然です。

高齢者の就業状況 H27年度			
区分	沼田市	群馬県	全国
15才以上就業総数	24,516	966,060	58,919,036
65才以上就業数	3,962	128,753	7,525,579
65才以上			
65~74就業者数	2,967	100,585	5,939,621
総数に占める割合	12.1%	10.4%	10.1%
75才以上就業者数	995	28,168	1,585,958
総数に占める割合	4.1%	2.9%	2.7%
総数に占める割合	16.2%	13.3%	12.8%

### 民間調査「100才まで生きたくない！」=65%

地域に住む高齢者が学校行事に積極的に参加したり、下校時の見守りをしたり、地域行事の役員となって、時間と労力を惜しまず活動出来たのも、生活に「ゆとり」があったからです。

ゆとりの少ない方々が地域や他人の困り事を議論したり実践したりすることは、大変な作業です。

だから下図のような「地域課題」解決の具体的な施策やサービスに繋げていくには、包括支援センターのコーディネーターや専門家の集まる地域ケア会議の機能発揮が必要と考えます。

